



部活訪問シリーズ③ — 後輩に技の出し方を教えます。(11月6日 武道場)

リーマンショックや大震災を乗り越え、経済が回復し就職求人活動も活発になってきました。そんな日常を、新型コロナウイルスが一瞬にして飲み込んでしまいました。以前の状況に戻るのには時間がかかりそうです。

高校生や大学生の就職難がささやかれる中、コロナ前に読んだ採用試験に関わる次のような新聞記事を思い出しました。

「身仕度や外見がしっかりしていることは当たり前。その上で、当人に何が出来るのかを見ていく。」— ある企業の採用担当者の話です。

また、ハローワーク(職業安定所)の所長さんは、中学校の進路担当者を前に、「地元の企業が採用したい高校生に求める資質は、元気で明るく、時間を守ることができ、体力のある人」と話してくれました。もちろん、これらは一定の学力を有していることが前提です。

高校入試や就職試験は、資格試験と違い、限られた枠を競う選抜試験です。

「こんなふうになりたい。」— 1年後や2年後の自分の姿を思い浮かべ、1日1日を過ごすことが求められる「待ったなし」の2年生です。

## 数年後の姿

# 「中学2年生と進路」⑭

## —福島高専の入試②—

福島工業高等専門学校(略称：福島高専)の入試は、①推薦選抜 ②学力選抜の2段階の入試で行われます。最初に行われる推薦入試は「一般」と「課題達成型」の推薦に分かれ、出願するための資格が必要です。本号ではその内容について紹介します。

### 推薦選抜出願資格

※次の各項目のすべてに該当し、在籍校長が責任をもって推薦できる者

#### 一般推薦

- (1) 本校への入学意志が確実で、人物が優れている。
- (2) 当該学科を志望する動機・理由が明確。
- (3) 当該学科に対して、適性、興味及び関心をもつ。
- (4) 第1学年、第2学年、第3学年1学期と2学期の必修5教科(国数英理社)の5段階評定の合計84以上で、かつ他の4教科(音美技体)の5段階評定の合計が60以上である。なお、第3学年において教科の評定に1がない。

#### 課題達成型推薦

※(1)(2)(3)(4)は一般推薦と同じ

(5) 中学校で以下の条件のいずれか1つ以上を満たしている者。

- ① 「モノづくり」に関する活動で、公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた。
- ② 「スポーツ、文化・芸術」に関する活動において、公的な機関が主催する大会等で、県大会入賞以上の成績、地方大会・全国大会等出場以上の成績をおさめた。または県選抜以上の代表として大会等へ出場した。
- ③ 「学術・研究」に関する活動において、公的な機関が主催する都道府県規模以上の大会等で入賞以上の成績をおさめた。
- ④ 資格・検定において、高校生レベル以上の級・種別を取得した。
- ⑤ 中学校において、生徒会長をつとめた。

評定合計に関する出願資格

通知票評定	国	数	英	理	社	音	美	技	体
1年(学年末)									
2年(学年末)									
3年	1学期								
	2学期								
出願資格	評定の合計が84以上 (平均4.2以上)					評定の合計が60以上 (平均3.75以上)			

一般・課題達成型ともに特徴的なのは、評定の合計基準があることです。1・2年生の場合は3学期末に配布される通知票の評定が算出の対象となります。3年生になって推薦入試を希望したとき、1ポイントでも不足すれば資格を得ることはできません。1年生からの積み重ねが入試で生かされるのです。  
(※これは県立や私立高の入試でも同様です。)

「あの時に頑張っていれば…」と後悔のないように。) )

推薦選抜では調査書に加え面接内容が合否に大きく関わります。福島高専 HP では、過去の推薦選抜で行われた学科別の面接内容が公開されています。かなり専門的な内容に短時間で答えなければなりません。関心のある人は一度眼を通してみましょう。



【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒  
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1  
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338